

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 9 月

作成者：(株)エックス都市研究所

	【施設名称】 高根沢町土づくりセンター
	【事業主体】 高根沢町土づくりセンター
	【所在地】 栃木県高根沢町
	【運転開始年】 平成 12 年
原材料および利用量	酪農農家25戸が堆肥センターに搬入した家畜排泄物(3,657t/年)、家庭生ゴミ(820t/年)、もみがら(802t/年)
生産物(種類)	堆肥(1,819t/年)
利用方法	農協を通じて販売
導入目的・経緯	<p>家畜排泄物、生ゴミ等から堆肥を製造。生ゴミ収集へのバイオマスプラスチック製ごみ袋採用。町内で発生する家畜排泄物、家庭生ゴミ、籾殻を有効に活用し、堆肥として農地に還元ことにより、循環型社会を推進するために、平成12年に高根沢町堆肥センターを建設している。</p> <p>家庭生ゴミの分別回収に当たっては、町の呼び掛けにより各家庭が積極的に分別収集や生ゴミの減量化に取り組んでいる。また、バイオマスプラスチック製品を導入し、約7割の世帯(7,000世帯)から発生する生ごみを回収している。関東また、町内の小学校の校外学習として、「土づくりセンター」の見学を実施しており、実践教育の場としても活用されている。</p>
設備仕様	
稼働状況	
経済性関連データ	
導入効果	
運営上の課題	
備考・参考資料	JORA 社団法人日本有機資源協会 利活用最良表彰 17年